

ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センターそらいろ
(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.07 2020.秋

「そらいろ」に思うこと

新理事長 橋本東代子

この度、苅山前理事長に代わり、理事長に就任しました橋本東代子です。どうぞ宜しくお願い致します。私は、そらいろが、NPO法人「色」として法人化した時に少しでもお手伝いができることがあればと理事になり、この度理事長という大役を仰せつかり引き受けることになりました。所長の池田さんは、私が精神科診療所に働き始めた時の先輩で、その時から利用者さんの「働きたい」という声に応え、一緒に職場に行かれてました。その後、症状や障害があっても「働きたい」を支援したいと、就労支援センター「そらいろ」を立ち上げました。「そらいろ」は人の営みとして“いろいろな色があっていい”をお互いに認めることと、空や海、空気や水のように生活に必要なものへの思いを込めて「そらいろ」と命名されました（通信 vol.1 で紹介されていますが）。そして「働くこと」を通して様々な喜怒哀楽を感じ、いろいろな人と出会い、紆余曲折を繰り返しながら人として成長を実感できることだと思えます。

今年は、コロナ感染で、そらいろも非常事態宣言時は在宅支援になり利用者の皆さんにも不安な日々を過ごされたのではと思います。解除後も感染対策を行いながらの通所再開です。そらいろでは3密にならないようにと新たに部屋を設けて活動を始めましたが、机には仕切りがあり、ミーティングもzoomとなり、マスクに消毒と息苦しく感じ、何かと行動制限され不安と不自由を感じておられると思います。この状況はまだ続くでしょう。なんとなく人と人の関係をも希薄にしてしまいがちだと危惧しています。

そらいろの理念の一つである「いろいろな個性でいろいろな才能をいろいろな役割によっていろいろな生き方へ」は、自分を大切にすること、周りの人々がその人を大事にすること、それぞれに認め合うことがないと成り立たないと思います。そんな人と人の繋がりを作っていくことが支援者には求められていると思います。コロナには不必要に恐れず、必要な感染防止は淡々と、そして3密が、人との物理的距離で心の距離にならないよう気を付けたいものです。

私は、年だけは重ねましたが、理事長職としては未熟者です。心の距離を大事にしながら、そらいろ同様「可能性にチャレンジ」していきますので、叱咤激励のほど宜しくお願い致します。



苅山前理事長 本当にありがとうございました。

苅山前理事長には大変お世話になりました。そらいろの運営・経営の基盤を整えるために、多くのご指導を頂きました。思い出すことが沢山あります。「理念」をつくる過程では、何度もミーティングにご参加頂き、貴重なご意見を頂きました。半年に1回のスタッフのヒアリングでは、ご多忙に関わらずお時間を作って頂き、スタッフ1人1人に合わせた具体的なアドバイスを頂きました。月1回の所内研修会では、個別支援計画作りの基礎となる「モニタリング」をしています。柔軟で幅広い視点からアドバイスを頂き、私たちスタッフは、その度に、霧が晴れた状態になったことを思い出します。また、ある時は、スタッフ間のコミュニケーション向上の為に「座談会」をご提案頂き、学習の機会を作ることが出来ました。・・・たくさんの場面でそっと手を差し伸べて下さっていたことを今更ながら気が付かされます。

私個人でいうと、基本の基本である理事会の資料作りからご指導頂きました。合わせて、スタッフや利用者さんとのコミュニケーションの場面で、具体的に伝える必要性和その工夫についてご教示頂いたり・・・枚挙にいとまがないです。本当に手のかかるスタッフだったと思います。ごめんなさい。

理事長の叱咤激励のおかげで、今のそらいろがあると心から思えます。数々の運営・経営上の課題点を整理し、少しでも前に進むために身を挺して支え、導いて下さったことを決して忘れません。理事長にアドバイスを頂きながら、利用者の皆さん、理事、スタッフの皆さんで作り上げた「理念」を大切に、活動を続けていきたいと思っています。

苅山前理事長、本当にありがとうございました。

(所長 池田克之)

就職 おめでとう!



今回は3名の方に就職され働いている状況についての感想文を書いていただきました。みなさんそれぞれの場所で頑張っておられる姿はメンバーさんや私たちを勇気づけてくれます。

「休業中」 ボルガライズ

ホテルで、事務・お客様対応のお仕事をされています。

ホテルで事務の仕事をしています。

事務所でパソコンを使った作業や電話対応をしています。お客様の部屋に行ってお要望にお応えしたり、フロント周りでちょこちょこ作業したりもしています。覚えなければいけないことが非常に多くて大変です。でも、分からないことは先輩方が丁寧に教えてくださるので、ありがたく思っています。

現在は、新型コロナウイルスの流行の影響で自宅待機の日々が続いています。勤務した日数より自宅待機している日数の方が長くなりました。今後の見通しが立たず、不安な気持ちもありますが、いつ仕事に復帰できていいように体調管理をしっかりとっておきたいです。

「就職して」 Y

製菓会社で庶務のお仕事をされています。

働き始めて、2ヶ月が経ちます。就職する前は、果たして私に仕事が務まるのかな?と不安でした。働き始めて間もない頃は、緊張していて睡眠不足でしたが、2ヶ月経った今では、大分眠れるようになりました。職場は優しい雰囲気の方が多く、怒鳴られたことは一度もありません。私の仕事は職場の皆さんがスムーズに働いてもらえるための下準備みたいなものです。仕事内容は地味なものですが、コツコツとこなしています。仕事を始めて一番変わった

ことは、仕事への責任です。自分自身で判断する場面も多くあり、これから任される仕事が増えてくるにつれて、それが高まってくるのではないかと考えています。

これからもこの調子で働けたらいいなと思います。いつも応援して下さるスタッフの皆さんありがとうございます。

「そらいろにして 良かった」 Y. S

ビルメンテナンスの会社で、清掃のお仕事をされています。

今回2回目のそらいろ通所で2回目の就職となった。知り合いからも「S君、飲食業だけは止めとけよ!マイペースでできる清掃業とかがええんとちがうか。」と言われたこともあり、清掃の

仕事に就くことができた。

そらいろの実習で行かせてもらった洛西教会の仕事も、私にとっては大きかった。今回、そらいろ入所の時「3, 4ヶ月で就職決めたいです」とスタッフに言って通所したがコロナウイルスのせいか、9ヶ月かかって働くことができた。大学の体育館ということで、だだっ広いスペースを掃除するのは大変だが、そらいろで培わせてもらったことを胸に秘めて、1日でも長く勤めれるよう頑張ります。以上



ピアノコンサート&就職体験発表会

2020年2月22日 於：バザールカフェ

たくさんの方に参加して頂き楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

■「そらいろの会に参加して」 I・Y

今年の2月に開催されたそらいろの会でピアノを演奏させていただきました。1曲はピアノソロで、もう1曲は、そらいろのメンバーの方とユニットを組んで、ギターとピアノのデュオで演奏させていただきました。演奏を通じて普段はなかなか知ることのできない、そらいろのメンバーさんの一面を知ることができて楽しい催しとなりました。また演奏後には多くの方に声をかけていただき、ご感想をきくことができ、とても励みになりました。昨今のコロナの流行で、人が集まるイベントは自粛せざるを得ない状況にありますが、いつかコロナが終息して、また以前のようにそらいろの利用者の方々やスタッフの方々と集まれる日が来てほしいと思います。



■「感動の一日」 みかんやん

そらいろの会で演奏を聴いたのは入所一ヶ月の頃、まだ右も左も誰の名も知らない時でした。

プログラムの最初はKさん。曲はショパンのノクターン。長くピアノを続けていられるそうで、選曲も作品の円熟期なので、テクニックな真に幻想をまとう様に弾かれて、うっとりとして聴かせて頂きました。

次はOGの方、ベートーヴェンのソナタ「悲愴」
く危なげなく弾かれて、おだやかな曲調に心のまま

それからHさんとOBの方、男性二人による
楽しませて頂き、最後に先のOBの方のピアノ
名な難曲をほぼノーミスで弾かれたのです。
動しました。

本当に演奏会に酔った私は思わず出来ると心に誓いました。

第二楽章。華奢な女性の指ながらしっとりとして全
聴き入りました。

ピアノと歌・ギターのセッションを
ソロ、ショパン「英雄ポロネーズ」。有
もう本当に驚く腕前で、思い切り感



しないのに「来年やりたい！」

■「二人三脚で」 N. K.

そらいろでの就職体験発表のお話を頂き、準備を始めたものの、内容がなかなかまとまりませんでした。それでも何とかやりきることができたのは直接的にはOBのSさん、スタッフ福本さん、宇野さんの支えがあったからこそです。皆さんからアドバイスを頂いて、「そらいろでの二人三脚体験」を中心にした発表をすることができました。「何でも自分でやろうとし過ぎる」傾向がある自分に、そらいろは「一緒に頑張ろう」ということを教えてくれました。「四人五脚」の成果があつた発表だったと振り返っています。ピアノ発表に弾き語り…それぞれの人の想いの詰まった発表の場でした。弾き語りでは「とにかく笑えれば」を歌っていただきましたね。笑える機会が多いほどいいと思います。できればたくさんの人と笑えればより素晴らしいと思います。

そらいろはそれができる場所だと体験発表会を通して改めて感じる事ができました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



賛助会員の皆様 (敬称略・順不同)

(令和2年4月～令和2年9月)

ありがとうございました。

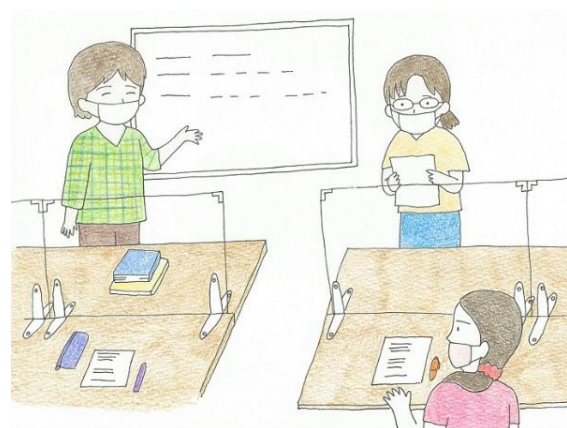
- ・NPO 法人日本学び協会
 - ・道端明子
 - ・堀内権司
 - ・國木悠子
- 【10名(掲載辞退6名)】

そらいろ全員で新型コロナ感染防止に取り組んでいます

そらいろでは自粛後、利用者の皆さんの通所再開にあたり、安心、安全を守るため全員で新型コロナ感染防止対策に取り組んでいます。また、これからは新型コロナウイルスと共存するための生活様式を考えなければならないことを前提に、「感染させない、感染しない」を目指し、知恵を出していかなければならない状況にあると思います。

三密を避けるため、時差通所、Zoomを使ったリモート支援、在宅で取り組めるプログラム教材考案、また所内では、飛沫感染防止対策として、全ての机、テーブルに600mm×900mmサイズのアクリル板シールドの設置、健康状況確認として、非接触体温チェック、日々の体調確認シート、マスク常時着用、手洗い励行、所内什器、機器の常時アルコール消毒、所内感染防止ルール徹底（トイレの使い方）など様々な対策を実施しています。長丁場になり、疲れや不便を感じることもあるかも知れませんが、利用者、スタッフが一丸となって、このコロナ禍の時代を乗り切るために今後も頑張りたいと思います。

(スタッフ 早川繁好)



■「コロナ自宅待機の際の気持ち」 C.M.

4月末から5月末頃まで、コロナ緊急事態となり、そらいろが閉所になり自宅待機となりました。行く場所がなくなり、そらいろの皆さんと会って話せず寂しい毎日でした。私はそのとき「読書をする」ということしかできませんでした。不安をかき消すためただ寝ても覚めても読書をしていました。おかげで好きな作家さんの作品を全て読むことができました。

毎日、午前にそらいろの皆さんとビデオ通話で朝の挨拶をし、昼過ぎに担当職員さんとビデオ面談をして頂いていたので、自宅に居ながらそらいろとつながってる気持ちになって大変助かりました。幸い土日や連休は、利用者さん達とビデオ通話に参加させて頂いたので、「皆で乗りきろう」という団結力が生まれてました。

コロナ自宅待機を経験してみて、毎日家から通える場所があること、他人と会って話せるありがたさを感じました。「外に出て他人と会う」ということは人間の健康的な活動のひとつだと思います。

見学会のお知らせ いつでもお気軽にお問い合わせください

『働きたいから、就職活動のサポートをしてほしい』『就労移行支援事業所って、どんなサポートをしてくれるの?』と思っておられる方に、見学会を開催しています。見学するだけでも、もちろんOKです。そらいろが、就労移行支援事業所が、どんなところかまず見学に来てみませんか? ぜひぜひ、お待ちしております☆

今回も文中のイラストは
そらいろの利用者の
N.Tさんが
描いてくれました。
(^_-)☆



編集後記

今回でVor.7となりました。今年は新型コロナウイルスの関係でプログラムを休止したり、感染予防をしつつ活動を再開するなど、試行錯誤しながらの活動となっています。お互いが協力しあいながら、「これが良いかな、これで良いのかな」を繰り返して、周囲と自分が共に大事にしあうことは、コロナがなくても忘れてはいけないと思いました。「新しい生活様式」ではなく元から大切なことだと、コロナが落ち着いても忘れずにいたいです。

(スタッフ 福本匡史)

特定非営利活動法人 色
就労支援センター そらいろ

(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL & FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : <http://sorairo-k.jimdofree.com>

